

佐志中学校だより

# 東天

歩° 歩° 歩° (ぽっぽっぽ)

気づき、考え、実行する生徒になろう

令和4年1月 第10号

文責：田中 泰博

## ～最後の学期を充実させよう！～ 今年もよろしくお祈りします

謹賀新年。今年もよろしくお祈りします。冬休みの間、大きな事故、問題もなく、無事に全校生徒のみなさんが過ごせたことをうれしく思っています。今年「寅(とら)」年。「トラ」と聞くと、強そうな、どう猛な「虎」をイメージしがちですが、干支(えと)で使用される「寅」とは区別されています。十二支は、もともと植物が循環する様子を表しており、子年(ねずみどし)に新しい命が種の中で芽生えはじめ、丑年(うしどし)には種の中で育つがまだ伸びることができない。そして寅年は「春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態」だとされています。そこになじみのある動物の「虎」の漢字をあてていくようになったそうです。皆さんにも芽吹く春がやってくるように、自分の目標達成に向けて挑戦し続けてください。そして、この一年が希望に輝く年になることを期待しています。

3学期は、1年の中で最も短い学期で、「0(ゼロ)学期」とも言われ、卒業や進級するための準備期間となります。そのためにも、自分自身を磨き、卒業後や進級後に夢や希望をもって生きていく力を身につけてほしい学期です。

始業式では、大谷翔平選手の話をしました。「マングラシート」と言われる自己目標達成表を紹介し、彼が世界的に有名になっても自分の目標に向かって日頃から心がけていること、目標達成のために必要な要素を書いて実践していることを話しました。彼がメジャーリーガーとして、大活躍している今でも、自分のさらなる成長を目指して、どんなときも諦めずに自分の可能性に挑戦することの大切さを教えてくれているような気がします。先の見えない中で、どれだけ頑張れるかが試されている私たちの今の状況と共通したところがあるのではないのでしょうか。3年生は高校受験が始まります。1・2年生は、1つ上の学年になるための準備と学年を締めくくる重要な学期です。4月に入学してくる新入生のよき先輩となれるよう、あらためて自分の行動を見直しましょう。

体のケア	サブリメントを飲む	FSQ 90kg	インステップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールをたく	リストの強化
柔軟性	体づくり	RSQ 130kg	リリースポイントの安定	コントロール	不安をなくす	力まない	キレ	下半身主導
スタミナ	可動域	食事量7杯朝3杯	下肢の強化	体幹開かない	メンタルコントロールをする	ボールを自分でリリース	回転数アップ	可動域
はっきりとした目標、目的を持つ	一番楽しない	誰は冷静に心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ピンチに強い	メンタル	得意気に流されない	メンタル	ドラ1 8種団	スピード 160km/h	体幹強化	スピード 160km/h	肩周りの強化
道をにつくらない	勝利への執念	仲間を思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナーキャッチボール	ピッチングを確やす
感性	愛される人間	新聞性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ	カウントボールを確やす	フォーク完成	スライダのキレ
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に使う	運	審判さんへの態度	遅く落着のあるカーブ	変化球	左打者への決め球
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む	ストレートと同じフォームで投げる	ストライクからボールに投げるコントロール	実行力をイメージ

## ～コロナ感染症対策について～

コロナ感染症が、再び広がっています。唐津市でも、多数の感染者数が報告されています。入試前に緊張感高まる様子です。3年生は、入試も始まります。このような大切な時期に、学校がクラスターになることは何としても避けなければなりません。下記のことをご留意ください。日頃、熱心に練習に取り組んでいる生徒たちに、つらい思いをさせますが、ご理解・ご協力のほどお願いします。

○部活動において、他校との練習試合や合同練習を実施しないこと。全国・九州・県大会等につながる大会に出場する場合は、保護者に同意書を求める。

○多くの人が集まるイベントへの参加や、蔓延防止等重点措置区域への不要不急の外出を控える。

○体調不良時に登校を控え、病院等を受診すること。

○本人に症状がなくても、家族の方に発熱等の症状が見られる場合は、登校を控えること。(家族の方が、病院等受診され、コロナでないことが判明すれば登校可能)

## ～「鶴城出前寺子屋」冬期休業版～

唐津東高校の生徒さんが、冬休みも学習指導に来てくれました。8月に行った「鶴城出前寺子屋」で、佐志中生が真剣に取り組んでくれたということで、冬休みの1月5・6日に再び実施してくれました。今回は、1・2年生が対象で、冬休みの課題やその他の勉強について丁寧に指導してくれました。2日間に10名の高校生が来てくれました。本校出身の高校2・3年生の生徒さんです。しかも、午前中に高校で補習を受けてきた後に、わざわざ来校してくれました。中学生は8名程度でしたが、お兄ちゃんお姉ちゃんに習っているという和やかな雰囲気が見えました。中学1年の風本さんは、用意していた課題が終わり、さらに別の課題をコピーしてまで教えてもらうという頑張りがありました。本当にありがたいことです。来年度の夏休みも計画しているそうです。



## ～3年生入試突入～

3年生の高校入試がいよいよ始まりました。1月20日の私立前期入試を皮切りに、3月の県立一般入試までの長丁場です。3年生諸君が、自分の力を出し切れるようしっかりと頑張してほしいと思います。先日、ある3年生に「今度のテスト成績が伸びたね」と声をかけると「そう、上がりました！自分でもびっくりした。最近勉強がよく分かるようになって、楽しかった」と答えてくれました。努力した分が自分の力になっていることは間違いありませんし、自信にもなったと思います。3年生は、いろいろ悩みながら、不安を持ちながら、眠気に負けそうになりながら必死にがんばっていることと思います。ただ、みんな一緒です。3年生の合格を心から祈るのみです。大丈夫！君たちは頑張れる！



## ～共に考えてみませんか？ 家庭学習について～

(学校評価アンケートの結果から)

お忙しい中に、学校評価アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。保護者の皆様からのご意見を生かし、今後も学習・生活面についてよいところは伸ばしながら、課題となったことは家庭とも連携をして学校生活の充実を図っていきたいと思います。

特に、今回は、ここ数年間改善されていない項目の「家庭学習」について、その分析結果を下記に挙げます。

- 『塾に通っている生徒』・・・50%程度。
- 『家庭学習に取り組んでいる（通塾含む）』と回答した生徒・・・90%
- 『ふだんから家庭学習を2時間以上している』と回答した生徒・・・24%。
- 『ふだんの家庭学習が1時間未満の生徒』・・・40%
- 『土日や休日に家庭学習を4時間以上している生徒』・・・0%
- 『土日や休日に家庭学習を30分以下、あるいは全くしていない生徒』・・・49%

中学生の学習時間は、学年+1時間と言われますが、塾を含めても時間が短いと感じます。宿題のみで終わっているという現状です。一方、保護者は56%が『家庭学習をしている』という回答でした。保護者の方々の意識と生徒の実態が、かけ離れていることが見てとれます。また、学習塾で教わっていることについては、「学校の勉強でわからなかった内容を教わる」という回答が25%となっています。言い換えれば、学校の授業でわからなかったことをなおざりにしているということがわかります。以前もお知らせしましたが、「スマホなどの1日の使用時間に2時間以上費やす」割合は約50%あり、これにゲームやテレビの時間を加えると「家庭です過ごす時間のほとんど」が学習以外のことに使われていることがわかります。メリハリをつけたスマホの使用と生活を心がけてほしいと思います。学校の先生には、授業以外でもいつでも質問してもらって構いません。ご家庭でも、お子様に声をかけていただくと助かります。よろしく願いいたします。